



発行所  
公益財団法人兵庫県消防協会  
神戸市中央区下山手通4丁目16番3号  
編集発行人 岸 谷 義 雄  
題字 井 戸 知 事

消すまでは  
心の警報  
ONのまま

# 平成26年 春の叙勲(消防関係)伝達式が挙行

平成26年春の叙勲が四月二十九日に発令されました。叙勲の受章者(消防関係)は、全国で六二一名、うち兵庫県では、元消防団員・職員二四名が叙勲の栄に浴されました。

受章された方々は、永年に

わたり国民の生命、身体及び財産を火災等の災害から防御するとともに、幾多の災害に對して、率先垂範して敢然と立ち向かわれ、地域の安全・安心の確保に尽力されました。また、消防力の強化、充実に努めるとともに、消防の発展に貢献し、社会公共の福



伝達式

祉の増進に寄与されたこと等、これまでの抜群の功績により、その榮譽に輝かれました。

今回の叙勲の伝達式は平成二六年五月一日(水)午前十一時一五分より東京・虎ノ門の日本消防会館ニッショールにおいて執り行われ、代表者に叙勲が伝達されました。

午後から受章者の方々は皇居へ参入、拝謁した後、記念撮影が行われました。本県の受章者は次のとおりです。

### ◎兵庫県下受章者(消防功労)

元神戸市  
消防正監 田辺征三郎



元姫路市  
消防正監 橋本 信昭



元明石市  
消防正監 水田 宣雄



◎瑞宝双光章  
元神戸市  
消防正監 魚住 好司



元南光町消防団  
団 長 塩崎 幸夫



◎瑞宝単光章  
元高砂市消防団  
分団長 大津 宏二



元明石市消防団  
分団長 大西 良廣



元赤穂市消防団  
副団長 大橋 博文



元豊岡市竹野消防団  
副団長 垣田 義和



元加古川市消防団  
分団長 梶野 節二



元尼崎市消防団  
分団長 齋藤 一成



元神戸市北消防団  
副団長 新谷 美治



元高砂市消防団  
副団長 谷本 政男



元姫路市網干消防団  
団 長 中田 正成



元西宮市消防団  
分団長 中務 直一



元西宮市消防団  
分団長 西川 竹夫



元尼崎市消防団  
分団長 福崎 有介



元西宮市消防団  
分団長 細谷南海男



元神戸市西消防団  
副団長 松井 肇



元姫路市姫路西消防団  
分団長 松本 克巳



元加古川市消防団  
副団長 松本 慶治



元豊岡市日高消防団  
副団長 水口 和美



元たつの市消防団  
分団長 満田 邦弘



元尼崎市消防団  
分団長 宮元 善雄



受章者の皆さん

# 第二一回危険業務従事者叙勲が 平成二六年四月二九日に発令

叙勲の榮に浴された方々は、消防職員として国民の生命、身体及び財産を火災等の災害から防御するため、永年にわたり著しく危険性の高い業務に精励するとともに消防力の強化、充実に尽力され、消防の発展に貢献し、社会公共の福祉の増進に寄与されました。今回の叙勲の伝達式は、平成二六年五月一二日(月)午前一時一五分より日比谷公会堂において執り行われました。

受章者は、全国で瑞宝双光章三四九名、瑞宝単光章二八

三名、計六三三名、うち兵庫県関係では、一三名の元消防職員の方々が受章されました。

### 兵庫県下受章者(消防関係)

- ◎瑞宝双光章  
元尼崎市 消防司令長 鮎山 守利  
元猪名川町 消防監 井谷 丈志  
元姫路市 消防監 一橋 千秋  
元佐用町 消防司令長 加藤 隆久



受章者の皆さん

- 元西宮市 消防監 川人 悦治  
元六粟市 消防司令長 北川 元男  
元姫路市 消防司令長 小面 正志  
元神戸市 消防監 小西 義明  
元宝塚市 消防司令長 高橋 徹  
元川西市 消防司令長 高橋 正衛  
元姫路市 消防監 谷口 治  
元加古川市 消防監 玉垣 守利  
元神戸市 消防正監 鳥住 純二  
元神戸市 消防監 橋本 健  
元明石市 消防司令長 松本 和夫  
元伊丹市 消防司令長 三木 毅
- ◎瑞宝単光章  
元西脇多可行政事務組合 消防司令 内橋 勝信  
元養父市 消防司令 奥藤 恒之  
元三田市 消防司令 小田 輝男  
元西宮市 消防司令長 藏野 富夫  
元神戸市 消防司令長 嶋 英雄  
元小野市 消防司令 廣瀬 正明  
元三木市 消防司令 向山 喜啓

## 岸谷会長、日本消防協会副会長・ 近畿地区消防協議会会長に就任!

この度、岸谷義雄消防協会長は、五月三〇日付をもちまして、近畿地区消防協議会会長の職に、また六月一日付をもちまして、公益財団法人日本消防協会副会長に就任されました。

岸谷会長は以前より、中央防災会議専門委員や消防審議会委員など、国の消防・防災に係る役職にも就かれており、

近年の複雑多様化する災害から、住民の生命・身体・財産を守るため、消防団の充実・強化にご尽力されております。この度、更なる重責を担われることとなりますが、引き続き兵庫の消防団、ひいては日本消防団全体の活性化のため、ご精励下さいますようお願い申し上げます。



日本消防協会役員就任挨拶  
(消防庁長官訪問)

## 兵庫県まとい会役員改選

平成二六年七月八日、舞子ビラ神戸において、兵庫県まとい会総会が開催され、任期満了に伴う役員改選が行われました。会長には、西はりま地区たつの市支部木津真人氏が就任されました。新役員の方々は次のとおりです。

- (会長) 西播磨地区たつの市支部 木津 真人  
(副会長) 神戸地区神戸市支部 安尾 勝  
阪神地区川西市支部 清田 俊也  
東播磨地区明石市支部 木村 正彦  
中播磨地区神崎郡支部 坂本 壽一  
北播磨地区加東市支部 服部 二郎  
但馬地区美方郡支部 西岡 安雄  
丹波地区篠山市支部 西嶋 忠一  
淡路地区南あわじ市支部 榎本 政實



日本消防協会役員就任挨拶  
(新藤総務大臣訪問)

# 平成二六年度 安全功労者 内閣総理大臣表彰式



内閣総理大臣表彰式

平成二六年七月一日(火)  
国民安全の日に合わせて、平成二六年度安全功労者内閣総理大臣表彰式が、総理大臣官邸大ホールにおいて執り行われ、安部内閣総理大臣から各受賞者に表彰状が授与されました。  
平成二六年度における受賞者は、個人の部四名、団体の部三団体となりました。  
県下の受賞者は次のとおりです。(敬称略)  
長洲防災会(尼崎市)



## 平成二六年度 安全功労者・消防功労者総務大臣表彰式

平成二六年七月四日(金)  
午前一時より、スクワール麴町にて、平成二六年度安全功労者・消防功労者総務大臣表彰式が関口総務副大臣の出席のもと、盛大に執り行われました。  
表彰式では、関口総務副大臣から式辞、表彰状授与が行われ、受賞者を代表してたつの市消防団田中旭団長が謝辞を述べ閉会しました。  
県下の受賞者は次のとおりです。(敬称略)  
○安全功労  
安積 和也(兵庫県消防設備保守協会・理事)



受章者の皆さん



田中団長

細中ヒロ子(明石市婦人防火クラブ連絡協議会・会長)  
広畑婦人防火クラブ  
三菱化学物流株式会社尼崎油槽所  
○消防功労  
田中 旭(たつの市消防団・団長)



## 平成二六年 兵庫県功労者表彰式挙行政

平成二六年五月二三日(金) 一三時三〇分から、兵庫県公館において、平成二六年兵庫県功労者表彰式が挙行されました。  
表彰は、二二三の功労分野にわたり二二七名の方が受賞されました。  
そのうち、消防功労では消防関係者六名の方々が受賞され、消防功労の受賞者を代表し、加古川市消防団の一井団長が井戸知事から表彰状を授与されました。

- ◎消防関係
  - 加古川市消防団 団長 一井 三好
  - 元明石市消防団 団長 碓氷 毅
  - 元豊岡市但東消防団 団長 坂岡 政昭
  - 元神戸市消防局 局長 嶋 秀穂
  - 川西市消防団 団長 水口 充啓
  - 元豊岡市豊岡消防団 団長 吉岡忠次朗



一井団長

兵庫県功労者表彰式



# 東播磨、中播磨、北播磨、西播磨、淡路の 5地区で地区消防操法大会開催



東播磨地区大会の様子

八月三日(日)の兵庫県消防操法大会出場へ向けて、東播磨・中播磨・北播磨・西播磨・淡路の五地区が、地区消防操法大会を開催しました。  
まず、東播磨地区の六月十五日(日)を皮切りに、西播磨地区が六月二十九日(日)、中播磨地区が七月六日(日)、北播磨地区と淡路地区が七月一三日(日)にそれぞれ開催し、熱戦を繰り広げました。

各地区の大会結果は次のとおりです。

### 【東播磨地区】

- ・ポンプ車の部  
優 勝 加古川市消防団 米田分団

### ・小型ポンプの部

- 優 勝 播磨町消防団 野添分団
- 準優勝 高砂市消防団 曾根分団
- 三 位 稲美町消防団 天満北分団 国岡部

### 【中播磨地区】

- ・ポンプ車の部  
優 勝 姫路市網干消防団 旭陽分団

- 準優勝 神河町消防団 越知分団
- 三 位 福崎町消防団 新町分団

### ・小型ポンプの部

- 優 勝 福崎町消防団 庄分団
- 準優勝 神河町消防団 作畑新田分団

### 【北播磨地区】

- ・ポンプ車の部  
優 勝 西脇市消防団

### 【西播磨地区】

- ・ポンプ車の部  
優 勝 宍粟市消防団 千種支団第一分団

- 準優勝 たつの市消防団 龍野第四分団
- 三 位 赤穂市消防団 第四分団

### ・小型ポンプの部

- 優 勝 たつの市消防団 掛保川第一分団
- 準優勝 たつの市消防団 御津第四分団

### 【淡路地区】

- ・ポンプ車の部  
優 勝 南あわじ市消防団 洲本市消防団

- 優 秀 淡路市消防団
- ・小型ポンプの部  
優 勝 南あわじ市消防団 洲本市消防団
- 優 秀 淡路市消防団

この結果により、この度の兵庫県消防操法大会への出場隊については、次のとおりです。

### ポンプ車の部

- 神戸地区 出場なし
- 阪神地区 宝塚市消防団
- 東播磨地区 加古川市消防団
- 中播磨地区 姫路市網干消防団
- 北播磨地区 西脇市消防団
- 西播磨地区 宍粟市消防団
- 但馬地区 新温泉町消防団
- 丹波地区 丹波市消防団
- 淡路地区 南あわじ市消防団

### 小型ポンプの部

- 神戸地区 神戸市兵庫消防団 A 神戸市兵庫消防団 B
- 阪神地区 三田市消防団
- 東播磨地区 播磨町消防団
- 中播磨地区 福崎町消防団
- 北播磨地区 三木市消防団
- 西播磨地区 たつの市消防団
- 但馬地区 豊岡市竹野消防団
- 丹波地区 篠山市消防団
- 淡路地区 南あわじ市消防団





北播磨地区大会の様子



北播磨地区大会の様子



中播磨地区大会の様子



淡路地区大会の様子



中播磨地区大会の様子



東播磨地区大会の様子



西播磨地区大会の様子



中播磨地区大会の様子



淡路地区大会の様子



西播磨地区大会の様子



北播磨地区大会の様子

# 消防団。ピックアップ

## 『北但大震災記念消防訓練を実施』

### 豊岡市城崎消防団

豊岡市は、平成一七年四月一日、兵庫県北東部に位置する一市五町が合併してできたまちで、「コウノトリ悠然と舞うふるさと」をまちの将来像とし、「コウノトリの野生復帰事業への取り組みを通して、人もコウノトリも住みやすいまちを目指しています。また、今年四月に芸術文化創造の拠点施設として「城崎国際アートセンター」がオープンし、

六月二日から一五日にわたって日本劇作家大会が盛大に開催されました。消防団は市町合併前の六消防団を残す多団制を採っています。我が豊岡市城崎消防団の装備としては消防ポンプ自動車一〇台、団本部指揮車一台を保有し、城崎町民の安全安心な暮らしのために、日夜積極的に活動を行っています。



訓練に対する分署長からの講評

管轄区域の人口は約三六〇〇人と小規模ですが、温泉地であることから、夜間人口は宿泊される観光客などによって増えます。この地区を現在、条例定数一五〇名の体制で守っています。今回は、五月二三日に行いました北但大震災記念消防訓練の様子を紹介いたします。この訓練の契機となった北但大震災とは一九二五年五月二三日午前

一一時十分頃兵庫県馬北部円山川河口付近を震源とするマグニチュード六・八、最大震度六の地震でした。揺れを感じる直前には、海側から大砲のような音が聞こえ、地震発生時には地面が四回も強く波打ったと伝えられています。当時の建築物は大半が木造であったため地震の初動で建物の多くは一気に倒壊し、折しも昼食準備中で火を焚いていた民家や旅館では瞬く間に火災が発生し、町は焼け野原になりました。特に城崎では死者が二七二名（人口比八パーセント、うち七一パーセントが女性）という甚大な被害を受けました。



火点に向けて放水



ホース延長をする団員

今年火災発生場所を水利確保が非常に困難な来日地区「観音寺」に決定。午前九時三〇分にサイレン吹鳴すると同時に防災無線で訓練場所を放送しました。九時三二分に最初の車両が現場到着。地区内の来日川から取水し可搬ポンプに中継送水後、九時三六分に放水開始。最終車両の到着が九時四〇分、同車両の放水が九時五二分。一斉放水後九時五五分放水停止。その後、豊岡消防署城崎分署長から講評をいただき訓練を終了しました。

近年、風水害の規模拡大もさることながら、いつ大地震が発生してもおかしくない状況となっております。このことから、住民の安全と安心を守る消防団の必要性を改めて強く感じています。しかし少子高齢化、人口減少による過疎化が消防団にも及び、入団者の減少等が今後の大きな課題となっております。消防団は、まちの防災体制には不可欠であり更にその強化を図らねばなりません。地域の自主防災組織とも情報交換しながら「自分たちのまちは自分たちで守る」という郷土愛あふれる心意気を発信し、活力と魅力のある消防団づくりを進めてまいります。

## 『消防団の組織再編と地域防災体制の確立に向けて』

### 丹波市消防団

丹波市消防団は、平成一六年一月一日、丹波市の発足と同時に旧水上郡六町消防団が現状のまま統合し、団員定数二、八四九名で発足しました。その後、均衡のとれた組織となるよう旧町見直し計画に基づく組織改革を行い、同年一二月には支団本部の廃止、定数改正、組織変更し、さらに平成一八年度には組織再編により、六支団三八分団九五部、団員定数二、六九六名となり、平成二三年度には、三八分団を二九分団に、九五部を九二部にし、団員定数を二、一六一名に削減し、現在は六支団九一分団二、一二六名となっております。

付積積車六五台、指令車七台を保有しております。消防団活動としては、平成二五年七月に消火活動における消防技術の向上と士気の高揚を図り、消防防災体制の充実強化と災害に強い街づくりを推し進めることを目的に夏季訓練大会を実施しました。また、上部幹部研修会、予防課研修会、交通安全講習会等を開催し、消防団員の資質向上を図るとともに、防火パレード、予防警察等を実施し、防火思想の普及啓発にも努めました。

施設整備では、充実強化を図るため、平成二五年度ポンプ自動車一台、小型動力ポンプ普通積積車五台、小型動力ポンプ五台の更新を行いました。



夏季訓練大会



ポンプ自動車

丹波市は今年合併して一〇年を迎え、平成二八年三月には丹波市発足一〇周年記念事業として防災対策室が中心となり消防本部、消防団、市民らが参加し「総合防災訓練 in TAMB A 絆」を開催する予定です。こうした防災訓練を行うことで火災や自然災害等に対し市民一人ひとりが防災に対する意識を高め、いつ何時起こるかかわからない事態に備え準備をしておくことが被害を最小限に食い止めることにつながると考えています。昨年一二月の臨時国会において『消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律』が制定され、『地域防災の要』として団員それぞれが技術及び資質の向上を図るとともに、機別別団員の採用、自主防災組織との連携を強化して地域防災体制の確立に向け取り組んでいきます。

わが町の団長さん

「西森号 出発！」

姫路市網干消防団長

西森 清孝



姫路市網干消防団は、魚吹八幡神社をはじめ、多数の歴史ある文化財や、県下有数の危険物集積地である姫路臨海地区特別防災区域など姫路市の南西部を管轄する消防団として、一部、六分団、二五九人の体制で、日夜消防団活動に従事しております。

西森団長は、昭和四九年に入団され、平成一九年から団長の補佐として副団長に抜擢され、その豊富な経験と実績、そしてその明るく楽しい人柄により、平成二六年四月より第九代目の団長に就任されております。

自動車整備業を営まれる団長は、自営業という強みに加え、奥様の内助の功、趣味のゴルフやマリンスポーツなど長年培われた人脈をフルに活かし、地域に密着した消防団活動は勿論、他団との積極的な交流にも務められております。

西森団長は、写真のとおり、トレードマークである口髭を生やし、その風貌から少し怖い印象をもたれるかもしれませんが、繊細な一面も持たれており、性格は非常に温厚・誠実で、常に団員に対しても

気遣いを忘れない優しい団長です。

しかし、災害発生時には、いち早く災害現場に駆けつけ、豊富な経験を基に陣頭指揮をとられ、その確かな判断力と行動力には地域住民や団員からも厚い信頼が寄せられています。

西森号が出発してまだ数カ月ですが、団本部会議を定期的に開催し、情報の共有化を図るなど、開かれた消防団運営により積極的に取り組まれており、持ち前の統率力と行動力で網干消防団員の先頭に立ち、地域防災のリーダーとして、地域住民の安全と安心を守り、地域からより一層信頼される消防団へと導いてくださることを期待しております。

「何が本業？元気の源はコココーラ？」

香美町消防団長

西村 功



香美町消防団は、平成一七年四月に三町の合併に伴い誕生し、今年度一〇年目を迎えました。現在、三支団、三五分団、団員数九八四名で組織され、兵庫県下で九番目に広大な面積（町では一番目）を管轄する消防団として活動しています。

西村団長は、昭和五八年五月に旧村岡町消防団に入団され、平成一五年四月に副団長に、合併後の平成二〇年四月に村岡支団長に就任され、平成二六年四月に前団長の勇退を受け、五五歳の若さで第三代目の団長に就任されました。

団長は瓦店を経営する傍ら、地元（二二年目）、町防犯協会長、町スポーツ推進委員長など多方面で要職を務められ、また、ボランティア活動として、兵庫県スポート推進委員会の委員として東北ボランティア活動に参加するなど、多忙な日々を過ごされています。さらに、趣味はハーフを中心にした一〇回程度出場するマラソンをはじめ、スキー、テニス、釣り、バイクと多種多様で、休日は年中各地を飛び回っており、いつ本業をして、いつ休んでいるのかさっぱり分からない不思議な団長です。

これだけ付き合いが多いので、さぞお酒の付き合いも多いのかと思いきや、まったくお酒は飲まず（飲めない？）、もっぱらコココーラで盛り上がっています。本当に奇妙な団長です。

「継続は力なり」をモットーに、三支団の交流をより深めるため、日々奮闘されています。今後も、地域の防火・防災の分野だけでなく、あらゆる分野のリーダーとして活躍されることを願っています。



われら若手消防団員

消防団に入団して

伊丹市消防団 中野分団

中島 佳徳



私が消防団に入団するきっかけは、久しぶりに幼なじみの友人達と、近くの店で一杯飲みながら話したとき、友人の一人から「消防団員として、一緒に活動してくれませんか？」と単刀直入の誘いを受けたのがきっかけです。

友人の熱く語る姿に、私は、一杯、二杯と飲むうちに、気分が高揚し、私の中に眠っていた少年の頃からの熱い思いが、沸々と湧き出て、「消防団かっこいいやん。」「地域防災活動を通じて生まれ育った地域に貢献したい。」との思いが強くなり、二ヶ月後、入団に至りました。

私の所属する分団は、団員数一五名で、年齢層は四〇歳代が多数であります。月に二、三回、消防車両等の点検整備、訓練、会議などを行っています。

はじめて、分団の訓練に参加するため、消防団の活動服を着たとき、今日から消防団員として防災活動の第一線で活動することを実感し、身が引き締まった瞬間でした。分団の会議の後、ポンプ操法訓練に参加させていただきましたが、防火衣

を着装し、ホースを延長、筒先を保持し放水したときの体感、想像以上のものでした。その訓練を体験した後、先輩方がホースを延長し、放水訓練する姿を目の当たりにした時、迅速な動きに驚かされました。

入団してから一年数ヶ月が経過し、まだ、実火災の現場に出勤したことはありませんが、様々な訓練、地域行事や警戒活動に参加し、地域の方々とも親しくなり、有意義な日々を送っております。ただ、消防団活動を続ける上で、家族の理解がとて必要であると感じております。休日は、分団訓練や会議に参加する日があり、家族サービスをする機会がこれまでより制限されることもあります。特に私の娘は、活動服を着て消防団活動に行く姿を見て、「お父さん！かっこいい！がんばって！」と大きな声で応援してくれます。

これからも、家族の応援や地域の方々の消防団への期待に応えられるように、消防団活動に励んでいこうと思っています。

『女性だから出来る活動を!!』

丹波市消防団

女性消防分団

西本 富子



平成二三年七月、神戸市北消防団長尾支団に女性団員として入団いたしました。

当時子供達のPTA活動も一段落し、次は地域のために何か出来ることはないかと考えていたとき、消防団の方から、救急インストラクターにならないかと声を掛けていただきました。以前主人が消防団員であったり、私自身も婦

人消防隊に参加していた事もあり、深く考えることなく入団を決めました。とはいえ、何をどうすればいいのか分からず救急講習の指導を中心地域や幼稚園、児童館等の行事に参加することが主な活動ですが、何か他に女性として出来る事はないかと現在模索中です。今は女性団員が三名と少人数の為、まずは、女性団員を増やすところからのスタートです。

これからますます高齢化社会に向かっています。私たちの地域にも高齢化の波が押し寄せています。高齢の方々に声を掛けさせていただいたり、安全に生活していけるように指導したり、女性だからこそ出来る活動を今後してい

きたいと考えております。また、「自分たちの住んでいる所は、自分達で守る」という自覚を一人でも多くの方が持つような啓発活動も行っていかなければと

安全・安心なまちづくりのお手伝いをしていきたいと思っております。



児童館での「乳幼児のための応急手当講座」

# 地域のお知らせ

## 神戸市長田区

### 「防災を後世に伝えるために」

神戸市の中南部に位置する長田区は、面積が約一二平方キロメートルと神戸市の面積（約五五三平方キロメートル）の約二パーセントで、神戸市で最も小さい行政区です。人口は九万九千人で神戸市の人口（約一五四万人）の約七パーセント、人口密度は一平方キロメートルあたり約八千六百人と神戸市内で最も高く、また、六五歳以上の高齢者人口比率も一番高い行政区で、長田区住民の約三パーセント（神戸市平均約二四パーセント）となっています。

区内には、市営地下鉄海岸線「夢かもめ」、市営地下鉄西神・山手線、JR山陽本線、神戸高速鉄道、山陽電鉄、神戸電鉄など、東西や北部への交通アクセスに優れており、商店街をはじめとする小売業が盛んで、下町の活気にあふれている一方、韓国・朝鮮・



長田まつり・神幸祭

ベトナム人等多くの外国人が住んでいる国際色が豊かな街であり、産業面では、シューズショップ専門の商業施設・シューズプラザが人気で、粉もんのお好み焼き、そば飯などは全国的にも有名であります。

また、平成二十一年一〇月に若松公園鉄人広場に鉄人二八号の実物大ミニユメメントが完成し、大勢の方がまちを訪れており、長田のまちは輝きを取り戻しつつあります。

それでは、消防団活動について少しご紹介いたします。神戸市長田消防団は団長以下、女性団員九名を含め第一分団から第八分団まで、定員一五〇名で、現在総員一四一名で活動しています。

主な活動は、火災や災害などの消防団活動はもちろんのこと、区域の自治会、青少年育成協議会、婦人会、幼稚園・保育園、小学校から大学までの各種学校、小学校区単位を中心とした防災福祉コミュニティの皆様にもご協力をいただき、各種行事、防災訓練などのほか、地域や学校町内会の行事に積極的に参加し、児童や生徒に消防団活動の授業や救急講習などを通じて人と人とのつながり、人の命の尊さを教えています。

管轄区域内には、神戸三大神社の一つ長田神社（日本書紀によれば創祀二〇一年）が

あり、正月の三ヶ日だけではなく追儺神事・夏越祭など年中賑わいがあります。

阪神淡路大震災が発生する前までは、祭りの行事ごとに私の担当する地区が神輿の担ぎ番で、地元の消防団員も多数参加、団結し有意義な時を分かち合っていた矢先、翌年の平成七年一月一七日に大震災が発生し、我々のまちは甚大な痛手を受け「祭り」どころではなくなり神輿が担げなくなりまりました。

平成一六年に担ぎ手、資金の準備ができた担ぎ番の地区が九年ぶりに神輿を担ぎましたが、その後また休止を余儀なくされました。

そしてまた、昨年九年ぶりに神輿を出すことができたのですが、若者などの担ぎ手不足で困っていた時に、長田消防団員、長田消防団員の有志、そのほかの関係の方にたくさんご協力をいただき、こころ強い気持ちと、感謝の気持ちでいっぱいです。

終わりになりますが、阪神淡路大震災や東日本大震災の経験が踏まえ、また近年の局地的なゲリラ豪雨、竜巻、豪雪、台風等による被害が各地で頻発し、住民の生命、身体財産を災害から守る地域の防災力の重要性が求められています。

しかし、少子高齢化の進展、被用者の増加など社会情勢の変化により、地域における防災活動の担い手を十分に確保することが困難になってきています。消防団活動により、中学校の生徒や小学校の児童が少しでも防災に興味を持ち、将来の地域防災の担い手になってくれることを願ってやみません。

## 「三田市消防フェアとポンプ操法大会」

### 三田市

#### 三田市消防フェア

三田市消防フェアは毎年九月初旬の日曜日に三田市総合文化センター（郷の音ホール）駐車場で行われ、三田市のポンプ操法大会と市民参加型アトラクションを同時開催するイベントです。平成二十四年から開催しており、今年で三年目を迎えます。来場者数は平成二十四年、二五年ともに毎年二、三千人の一般市民の方に来場いただきました。



消防フェアでは毎年、多くの一般市民の方が参加し、賑やかなイベントになっています。



ちびっこレスキュー体験も人気コーナーのひとつです。現役レスキュー隊員が優しく教えてくれます。

アと同時に開催することで、より多くの市民の方に見てもらえることができます。また、初めて見る方も多く迫力あるポンプ操法に会場は歓声で沸いています。

今年八月に開催されます第二五回兵庫消防操法大会にも阪神地区代表として三田市から一チーム出場が決まっております。県大会で優勝を目指し三田市消防団一丸となり県大会出場選手は汗を流しながら訓練に励んでいます。

※平成二六年三田市消防フェアの開催は九月七日（日）一二時から三田市総合文化センター（郷の音ホール）駐車場での開催を予定していますので是非ご来場ください。

開催しているアトラクションとして、市内幼稚園による幼年消防隊のパルーン演技、市内中学校によるドリル演奏、体験コーナーでは水消火器による消火体験、煙ハウス体験や、消防車の写真撮影コーナー、お子様向けのレスキュー体験でロープを渡ったりといったイベント、救急ブースも会場内にあり、模擬人形を使用したのAED体験、保健師による健康相談、防災資器材展示等の、防災啓発も行っています。またアトラク

#### ポンプ操法大会

三田市消防フェアでは小型ポンプ操法大会も実施しております。市内七つの分団による白熱した操法大会を開催しています。三田市市内七つの地域から選抜された消防団員五名一チームの計七チームが参加し、日頃の訓練成果を発揮しています。ポンプ操法大会を消防フェア



市内7つの分団による白熱したポンプ操法大会。練習の成果を発揮する場です。

## 編集後記

厳しい暑さが続いておりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

さて、今月号では、岸谷会長長の日本消防協会副会長・近畿地区消防協議会会長就任記事に掲載しております。事務局共々、消防団の更なる発展のため今後尽力して参りますので、皆様の温かいご支援・ご協力をお願いいたします。

また、春の叙勲をはじめ、各種表彰式の様子を掲載しております。受章された皆様、誠にめでとございませう。

大雨・台風など何かと気がかりな季節となりましたが、災害へは十分に備えていただきますとともに、体調管理には気をつけてください。



#### 【お詫言と訂正】

兵庫消防平成二六年五月一日発行第六五二号の地域のお知らせの記事において、南あわじ市と記載すべきところ、淡路市と誤って掲載しておりました。

読者の皆様にご迷惑をおかけしたことを深くお詫言申し上げます。